

平成 24 年度  
乳の社会文化学術研究 研究報告書

平成 26 年 3 月



乳の社会文化ネットワーク  
乳の学術連合



一般社団法人 Jミルク  
Japan Dairy Association (J-milk)

## はじめに

「乳の社会文化ネットワーク」は、乳の利用と酪農乳業の発展に関する社会的・文化的価値研究を通して、わが国の乳文化の創造に積極的に貢献することを目的に、平成24年4月8日設立以降、乳に係る社会的文化的学術研究テーマを広く募集し、委託研究を実施しています。

今回は、初年度にあたる平成24年度に実施した委託研究の成果（9題）を、乳の社会文化学術研究報告書として取り纏めました。

この報告書が、関係者皆様のご参考となり、乳に係る社会文化的知見の深耕及び牛乳乳製品市場の活性化に少しでも寄与できれば幸いに存じます。

おわりに、本調査研究に鋭意に取り組まれた諸研究者の方々には、心からの謝意を表します。

乳の社会文化ネットワーク  
代表幹事 和仁 皓明  
一般社団法人 Jミルク  
会長 浅野 茂太郎

## 目 次

1. 牛乳宅配事業が牛乳飲用習慣の形成に及ぼす影響要因の国際比較研究  
大阪府立大学経済学部  
上野 恭 裕…………… 1  
坂 田 健 二
2. 日本におけるチーズ製造の歴史的発展  
前日本大学生物資源科学部  
栢 英 彦…………… 36
3. 中国内モンゴル自治区における乳製品加工システムの地域性に関する研究  
—牧畜業の第六次産業化への日本モデルの導入—  
奈良女子大学文学部  
武 藤 康 弘…………… 43  
青 華
4. 世帯における牛乳・乳製品の消費習慣と利用方法 —子育て世帯の食卓に注目して—  
日本農業経営大学校  
小 野 史…………… 73
5. 日本の学校給食における牛乳利用の歴史的評価  
長野県短期大学  
中 澤 弥 子……………112
6. 戦後日本における乳製品の普及過程に関する社会学的分析  
—教育現場から家庭・地域へ介入する食教育の再検討—  
熊本大学教育学部  
増 田 仁……………176
7. 安心・安全な牛乳生産の免疫技術向上を目指したプロバイオティクス利用の社会的貢献  
東北大学大学院農学研究科  
北 澤 春 樹……………196
8. 乳をめぐるリスクコミュニケーションの現状と課題  
—放射性物質のリスクはどのように捉えられているか—  
東京大学大学院農学生命科学研究科  
細 野 ひろみ……………220  
関 崎 勉
9. 牛乳乳製品の飲用習慣形成へ与える新要因としての身体運動・スポーツの役割  
北海道大学大学院教育学研究院人間発達科学分野  
水 野 眞佐夫……………240  
北海道大学高等教育推進機構高等教育研究部  
徳 井 美智代